

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	総合運動公園再生修復事業			事業番号	36-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	みどり公園課	吉田 俊	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	36	みんなで楽しめる公園づくりの推進	
予算事業名	総合運動公園維持管理費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成28年度	～	終了年度	令和4年度
関連法令等	都市公園法				
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市総合運動公園は、昭和63年に供用開始されて以来、施設の経年劣化が進んでいます。また、人口減少、少子高齢化、市民ニーズの多様化などの時代の変化に伴い、総合運動公園に求められる役割も変化しています。このような中、市民意識調査においても、大型遊具等が整備された子ども達が遊べる公園のニーズは高くなっています。				
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市総合運動公園が、将来に渡り、市民の健康づくりや、憩いの場、誰もが楽しめる公園となるよう、総合運動公園再生修復基本方針(案)に基づき、施設の整備を行います。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び公園利用者				
事業内容 (手段、手法など)	総合運動公園再生修復基本方針(案)に基づき、実施設計を行い、子ども広場の整備を行います。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	実施設計	実施設計	—	—	
	施設整備	—	芝生広場遊具等 芝生広場トイレ	芝生広場附帯 展望広場 中央広場水景施設	
目 標	【指標名】	年度			
	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	総合運動公園施設の整備	—	実施設計	芝生広場工事 芝生広場トイレ整備	芝生広場工事 展望広場・ 中央広場整備

 事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	国の令和元年度補正予算に基づく子どもの広場冒険遊びゾーンの整備を推進するとともに、市制施行50周年に合わせたオープニングイベントを企画立案し、子どもの広場のグランドオープンをめざします。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目		年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実施設計		実施設計		後期実施設計
	施設整備		-	芝生広場工事 芝生広場トイレ整備	芝生広場工事 芝生広場トイレ整備
実施した取組の内容	後期実施設計作成、斜面遊具等整備工事、水景施設等整備工事				
目標の達成状況	【指標名】		年度		
	【現状値】		平成30年度	令和元年度	令和2年度
総合運動公園施設の整備		-	実施設計	芝生広場工事 芝生広場トイレ整備	斜面遊具整備 水景施設整備

	年度		平成30年度 実績		令和元年度 実績		令和2年度 実績							
コスト	事業費合計 (a)		4,968	千円	167,583	千円	158,518	千円						
	内訳	国県支出金 ①		0	千円	34,000	千円	78,000	千円					
		地方債 ②		0	千円	50,600	千円	77,700	千円					
		その他特財 ③		0	千円	80,840	千円	0	千円					
		一般財源 (a)-①-②-③		4,968	千円	2,143	千円	2,818	千円					
国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金(都市公園等事業) 補助率:国1/2												
その他特財の内容	受益者負担		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期									
	その他													
人件費	正規職員		0.11	人	936	千円	0.6	人	5,220	千円	0.6	人	5,160	千円
	その他の職員		0	人	0	千円	0.4	人	1,060	千円	0.4	人	1,064	千円
	人件費合計 (b)		0.11	人	936	千円	1	人	6,280	千円	1	人	6,224	千円
トータルコスト (a)+(b)		5,904	千円	173,863	千円	164,742	千円							
単位当たりコスト	対象数	定義	市民	単位	市民	単位	市民	単位						
		対象数	102,416	人	102,248	人	102,046	人						
	総事業費 / 対象数		58	円	1,700	円	1,614	円						

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	総合運動公園再生修復整備方針に基づき、後期実施設計を行うとともに、子どもの広場冒険遊びゾーンの整備を実施しました。なお、1月に国の交付金の補正予算の採択を受け、令和3年度事業の財源を確保することができました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	これまで本市に無かった大型遊具の整備ができ、他市と同水準の整備が進んでいます。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	冒険遊びゾーンの稼働により、多くの来園者が楽しめる場ができるとともに、展望広場の整備により風光明媚な伊勢原を楽しめる場を提供することができ、公園の機能性、魅力が高まりました。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	国の補正予算を活用し、前期2箇年の事業を効率的に実施しました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	総合運動公園再生修復整備方針に基づき、後期2箇年の整備工事を遂行し、事業効果の早期発現をめざすことが必要です。
令和3年度の取組方針	国の令和2年度補正予算に基づく自由広場グラウンド等の整備を推進し、後期2箇年の事業完成を目指します。
所管部長による総評	冒険遊びゾーンが完成したことにより、子育て世代への環境整備を行いました。子どもから高齢者まで多世代が楽しむことができる魅力的な公園づくりは、本市の持続的な発展に欠かせないものであると考えますので、早期の完成をめざして取組を進めていくことが必要です。